

2001年の本。

◆ピッキング被害

明日香は被害者のカギを作った美和ロック（東京・港）に向かった。被害は主力商品、ディスクシリンダー錠で多発していた。広報室長、越野則之さん（57）の答は驚くべきものだった。

「最近の解錠技術だと早ければ十秒で開きます」

「そんな簡単に？ 欠陥品では？」。驚く明日香に越野さんは説明した。

「粗悪品ではありません。そもそも解錠技術を使って開かないカギはないんです」

・・・

「消費者が悪いのでしょうか？」。「カギの救急車”などのチェーンを持つ九州フキ（福岡市）東京本部技術担当部長、古藤光国さん（37）は首を振った。

「選んだのはドアメーカーなど建築関係者ですよ。問題のディスク型は高度成長期にシェアを伸ばし、戸建てで五割、マンションなどの集合住宅なら七割以上を占めています」

「ええっ、七割も？ 開けやすいカギがそれだけ普及してれば、当然狙い打ちされる。でも、なぜ建築関係者は狙われやすいディスク型を採用したんだろう」

カギには基本的にピンシリンダーとディスクシリンダーの二種類がある。前者は加工に手間がかかり割高。ディスク型は大量生産しやすく安価で納期とコストを重視する建築業界で歓迎された。

・・・

男は孝造を一室に案内、CP-C 認定を受けた型のカギを示した。

「いいですか、ピッキングより簡単に開くんです」。一般家庭にもありそうな道具で細工した。「ガチャ」。二十秒弱で無力化してしまった。

孝造は青ざめた。「これならだれでも開けられる」。

◆ペットボトル・リサイクル

工学部教授の武田邦彦さん（54）の分析では、「実は、容器再生は資源を無駄遣いし、環境にも良くない可能性が高い」という。

例えば、石油から新品を作るには一本七・四円かかる。だが、分別回収で容器を再生すると費用は二七・四円にもなる。回収・再生には燃料が要るので、資源を新品の三・七倍も使っていると見ることもできる。これが、焼却だと一・八円。「有害物質も出ず、体積も二十五分の一に減る」（武田さん）という。

この試算には「再生費の大半は人件費」（東大生産技術研教授の安井至さん）との反論もある。だが、武田さんは「大気や水を余計に汚す可能性が高い」と指摘。環境保護の上でも焼却が合理的とみる。

◆日経平均株価

具体例を見てみよう。額面五十円のA社株に市場で二千円の値がついているとする。一方、額面五万円のB社の株価はA社の千倍の二百万円。そのまま、二社の株を平均すると平均株価は百万一千円だ。仮に次の日、A社株が一〇〇%値上がりして四千元に上昇、一方B社株は-%だけ下がって百九十八万円になったとしよう。平均は九十九万二千元。A社が高騰したにもかかわらず、平均株価は九千元も下がってしまうことになる。

「そこで、まずすべての銘柄を**額面五十円に統一**してから計算するんだよ」と弘太。右の例で、B社の額面（五万円）を千で割れば五十円になる。だから株価も同様に千で割ってから平均する。二百万円÷千=二千元となり、同じ水準で扱えるわけだ。「こうしてそろえた二百二十五銘柄を**“除数”**という一定の値で割って算出するんだ」と弘太が説明した。

明日香が聞いた。「単純に二百二十五で割らないのは、**株式分割や採用銘柄の入れ替え**のとき、影響が出ないよう修正するためですか?。「その通り。鋭いね」。

◆欠陥住宅

住宅の法律相談の上位は、常に大手メーカー関連の相談だという。

大手メーカーのほとんどは自社の職人を抱えていない。実際の工事は地場の工務店などに丸ごと下請けに出し、さらに別の工務店に下請けに出すことが多い。

この構図が手当てに反映している。契約が複雑になるほど実際に仕事をする職人の手取りは減少する。その結果、「三回の塗装を一回に抑え、経費を削る」（工事関係者）ようなことになる。塗装回数が少なくても素人目には外見上、ほとんど区別はつかないという。

都内に住むTさんの家は、乾燥した木材のかわりに、水分を含んだ低価格材が使われていたため、冬になって書斎のドアがあかなくなった。

ある工事関係者は「予算百万円の工事が、現場では四十五万円程度になっているケースはざら」（別の工事関係者）と証言する。

・・・

従来、消費者は完成した住宅に多少不備があっても目をつぶる傾向が強かった。二十数年程度と住宅の建て替え年数が短く、建物に対する執着が薄かった。しかも、地価上昇で土地の資産価値は上昇を続けていたため、建物が劣化しても地価上昇で補えるという感覚が浸透していた。

ところが、地価下落や賃金の上昇率の鈍化などで状況は一変した。一生同じ家に住む可能性が出てきたからだ。その結果、建物の重要性を再認識して、要求水準が上がり、これまで許容してきた欠点も許せなくなった。

・・・

全国の住宅着工件数は年間約百二十万件。ところが、検査官は全国で千七百人程度しかない。中間検査と完了検査を合わせ、一日毎日二軒ずつ検査してもとても追いつかない。このため、一部地域では全体の-%程度しか検査が行われていないという。

「つまり、基準法はザル法で、制度自体が手抜き工事を助長していたわけですね。何とか、ならないんですかね」。

・・・

「現状を打破しようと、二〇〇〇年四月に新法が施行された。住宅品質確保促進法だ」

これは基準法とは別に、耐震性など九分野の評価基準を設定。建物完成時の性能を第三者機関が確認、欠陥を未然に防ぐ仕組みだ。建設省（現国土交通省）は「基準法の不備を補い、欠陥住宅を減らす効果を期待している」（住宅生産課）。

・・・

「新法は中小にとって打撃になる」と顔を曇らせた。

新制度で、大手による中小工務店の淘汰が進むというのだ。地域の工務店がつくる住宅と大手の住宅との間には平均二―三割の価格差がある。高い性能評価を得るには費用がかさみ、価格差が縮小、顧客は大手に流れる。

◆失業率は、アンケート調査から推計

アンケートは、総務省が都道府県などを通じて委託した調査員が実施している。全国の四万世帯（約十万人分）を訪問、同じ世帯に二カ月間、調査票を配布する。月末の一週間に仕事をしたかどうか、職探しをしているかどうかなどを調べる。その結果をもとに全体の状況を推計する。

◆介護保険サービス

「一部のケアマネジャーに利用が集中して、過剰労働や人手不足を招いているんです」

吉野さんによると、満足できない利用者が契約を破棄、評判の良い一部のケアマネジャーや業者に集中する例が急増している。評判の良い業者は殺到した要望にこたえられず、不満が生まれる。

◆日本国債格下げ

「格付け会社、ムーディーズ・インベスターズ・サービスが日本国債の格付け（現在はAa1）を引き下げる方向で検討」

・・・

国債は、投資に必要な資金を集めるために国が発行する債券（借金の証書）。国債の発行残高は九九年度末に三百五十九兆円と、米国を上回って世界最大になっている。格付けの変更は、いったい日本経済にどんな影響をもたらすのか。孝造はニッセイ基礎研究所副主任研究員の小巻泰之さんに聞いてみることにした。

「格付けが一ランク落ちると、信用が落ちて債券が売りにくくなり、その結果、金利が〇・三%上昇するとの試算結果が出ました。つまり、国債を買った人への利払いが膨らむので、その分、国、政府は資金の調達コストがかさむ計算です」と教えてくれた。

「なるほど、ということは国の負担が膨らむということだな」

~~~~~

2014/12/01

ムーディーズ、日本国債を格下げ **Aa3 から A1** に

ムーディーズ・インベスターズ・サービスは1日、日本国債（政府債務）の格付けをAa3からA1に格下げたと発表した。格付けの見通しは安定的。

格下げした理由は大きく 3 つ。1 つは財政赤字削減目標の達成可能性に関する不確実性の高まり、2 つめはデフレ圧力の下での性直促進策のタイミングと有効性に関する不確実性、3 つめはそれに伴う中期的な日本国際の利回り上昇リスクの高まりと債務負担能力の低下を挙げている。

ただし、A1 の格付けは、「極めて高い政府の信用力を反映」としており、今回の格付けアクションは、日本の外貨建て、自国通貨建てカントリーシーリングおよび銀行預金シーリングの Aaa には影響を与えないとしている。

なお、ムーディーズによる国債格付けは、最上位の Aaa には米国やドイツ、カナダ、シンガポールなどが、Aa1 には英国やフランスなど、Aa3 には中国や韓国などが位置付けられており、日本の A1 はそれらを下回り、エストニアやチェコと同水準となる。

<https://www.sbbbit.jp/article/cont1/28931>

2019 年 10 月 24 日

日本の格付 A1 を確認、見通しは安定的

[https://www.moodys.com/researchdocumentcontentpage.aspx?docid=PR\\_410745](https://www.moodys.com/researchdocumentcontentpage.aspx?docid=PR_410745)

ムーディーズの長期債務格付けの最高位は Aaa となる。BBB、CCC に相当する記号も二番目以降の文字は a で、Baa、Caa となる。

ムーディーズの格付け記号を最上位から並べると次のようになる。

Aaa,Aa1,Aa2,Aa3,A1,A2,A3,Baa1,Baa2,Baa3,Ba1,Ba2,Ba3,B1,B2,B3,Caa1,Caa2,Caa3,Ca,C

~~~~~